

自然環境保全活用調査
その10

報告書

平成24年3月

富田林市

目 次

1. 緑の基本計画における「里山の緑（東部丘陵地）」の位置づけ	-----	1
2. 「里山の緑（東部丘陵地）」の詳細調査	-----	3
(1) 調査対象地の位置	-----	3
(2) 周辺の植生	-----	3
(3) 緑地の現況	-----	6
3. 保全施策の提案	-----	13
(1) 現地調査結果のまとめ	-----	13
(2) 自然保全手法の検討	-----	14
参考資料	-----	17
・「棚田守りたい」通信		
・「下赤阪の棚田」とは		
・「棚田・ふるさと保全基金事業」について		
・「棚田ふるさとファンクラブ」活動案内		
・「棚田夢灯り2011」チラシ		

1. 緑の基本計画における「里山の緑（東部丘陵地）」の位置づけ

平成19年度に策定された「富田林市緑の基本計画」では、本調査の対象地である「里山の緑（東部丘陵地）」は緑の将来像の主に「田園ゾーン」に区分され、富田林の自然環境を特徴づける緑、富田林の風土を表現する緑として位置づけられている。

「富田林市緑の基本計画」より抜粋・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

■緑の評価と課題の整理

富田林の風土を表現する緑は、これまでの富田林市の長きにわたる歴史において、人々の生活の営みや文化により形づくられ、旧来より継承されてきた緑です。このような緑の中には社寺林等の緑や農地の緑、里山の緑等があります。

富田林市内に残されている里地・里山空間は、ふるさとの景観や生態系の保全の上で重要な役割を担っています。

■ゾーン別の緑の基本方針（田園ゾーン）

本ゾーンは農業振興地域・農用地区域をはじめとするのびやかな農地や集落、里山がひろがる地域であり、優良農地をはじめとする良好な農村の緑の保全に努めます。とくに山麓部は、丘陵斜面に沿って谷が奥深く入り込み、谷地田が形成され、特徴的な里山景観を呈しています。また、ため池や樹林、樹園地、里地の社寺林等多様な里山の自然が存在していることから、富田林市を代表する里山の緑として保全・育成を図ります。

■環境保全系統の緑の配置方針

○富田林市の自然環境を特徴づける緑

市域南部の丘陵地は、農地の緑の背後に連なる里山の緑として、谷地田、ため池等と一体となった豊かな自然環境を形成しています。

■景観構成系統の配置方針

○地域の歴史・文化と一体となった緑

里山や畦畔地等の緑は、伝統的な農村景観やのびやかな農地景観の主要素として、富田林の風土が緑の景観を形づくっています。

■富田林市の風土を表現する緑の保全と育成

○里山の緑の保全・育成

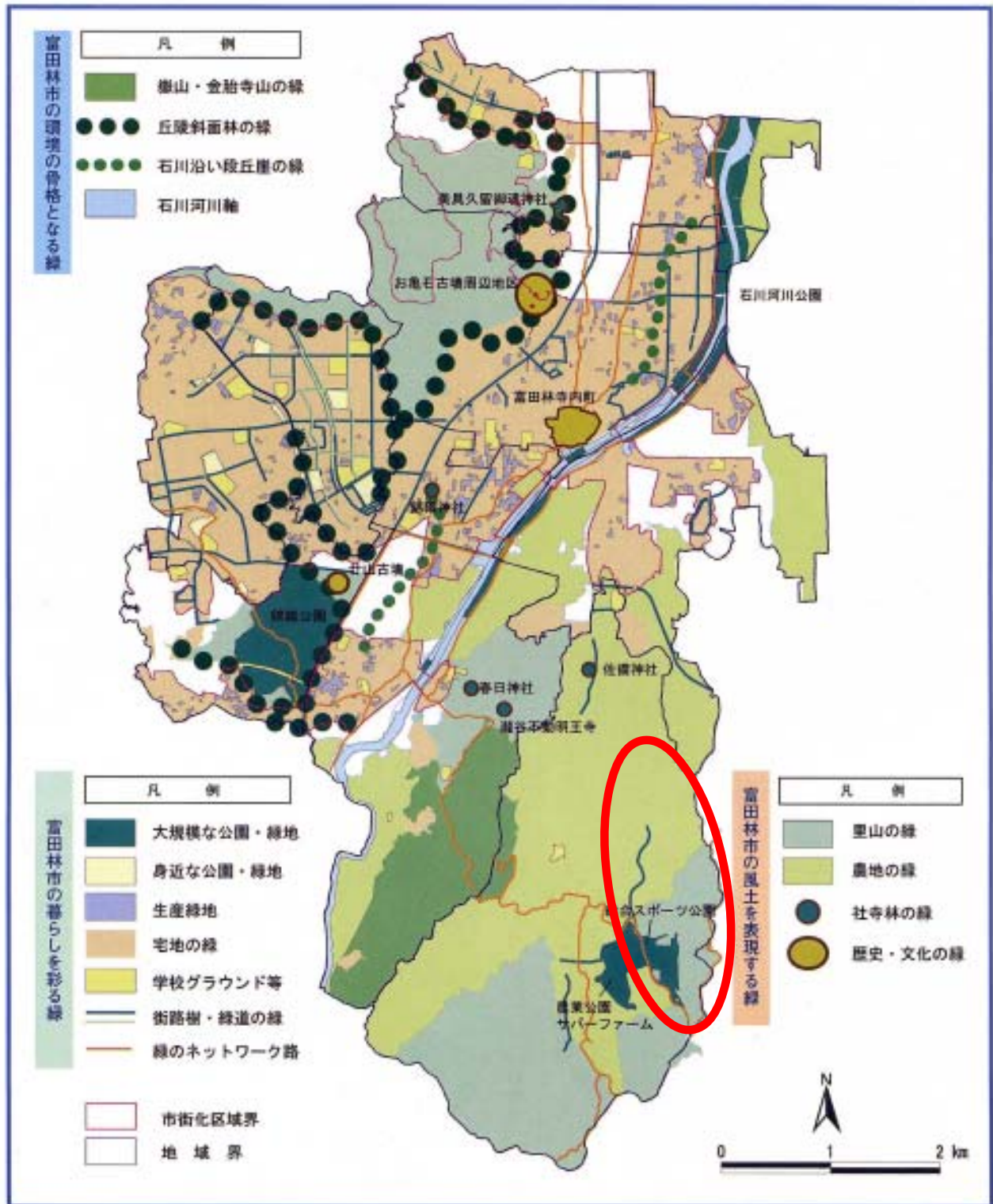
雑木林や樹園地の丘陵やその麓の農村集落、ため池や河川の水辺やその周囲の水田等、里山は富田林の風土に根ざした多様で豊かな環境を形づくっています。（中略）これら里山の緑においては、地域資源を活用しながら都市との連携のもとに自然環境の保全・育成を図ります。

○のびやかな農地の緑の保全

農地は、食料生産基盤としてだけでなく、景観や環境保全当の多面的な機能を有し、地域の自然環境保全に果たす役割は大きいことから、今後もこれら農地の維持と適切な管理に努めます。

＜富田林市緑の基本計画「緑の将来像図」＞

※「里山の緑（東部丘陵地）」は富田林市の“風土を表現する緑”に位置づけられている。



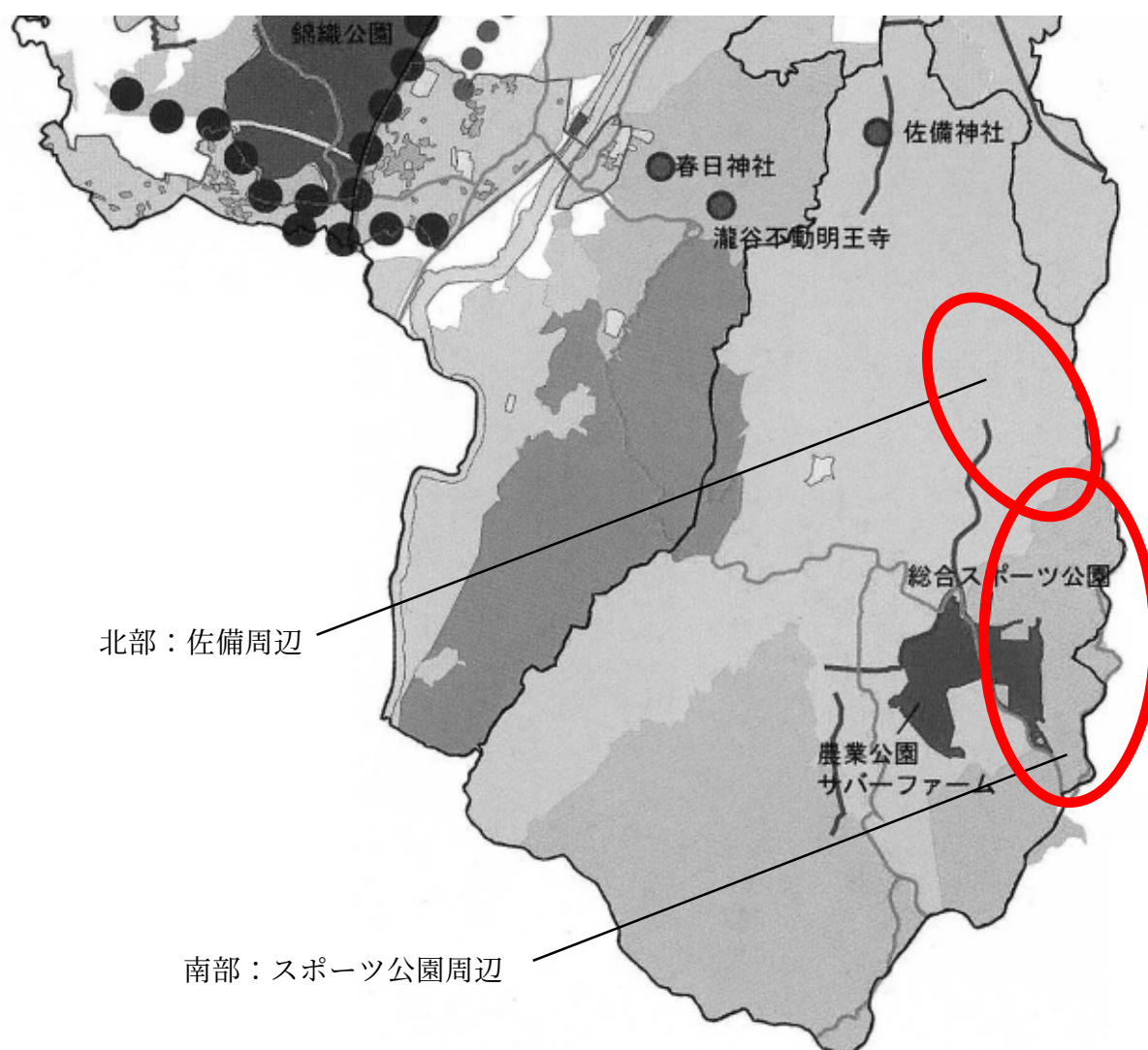
2. 「里山の緑（東部丘陵地）」の詳細調査

(1) 調査対象地の位置

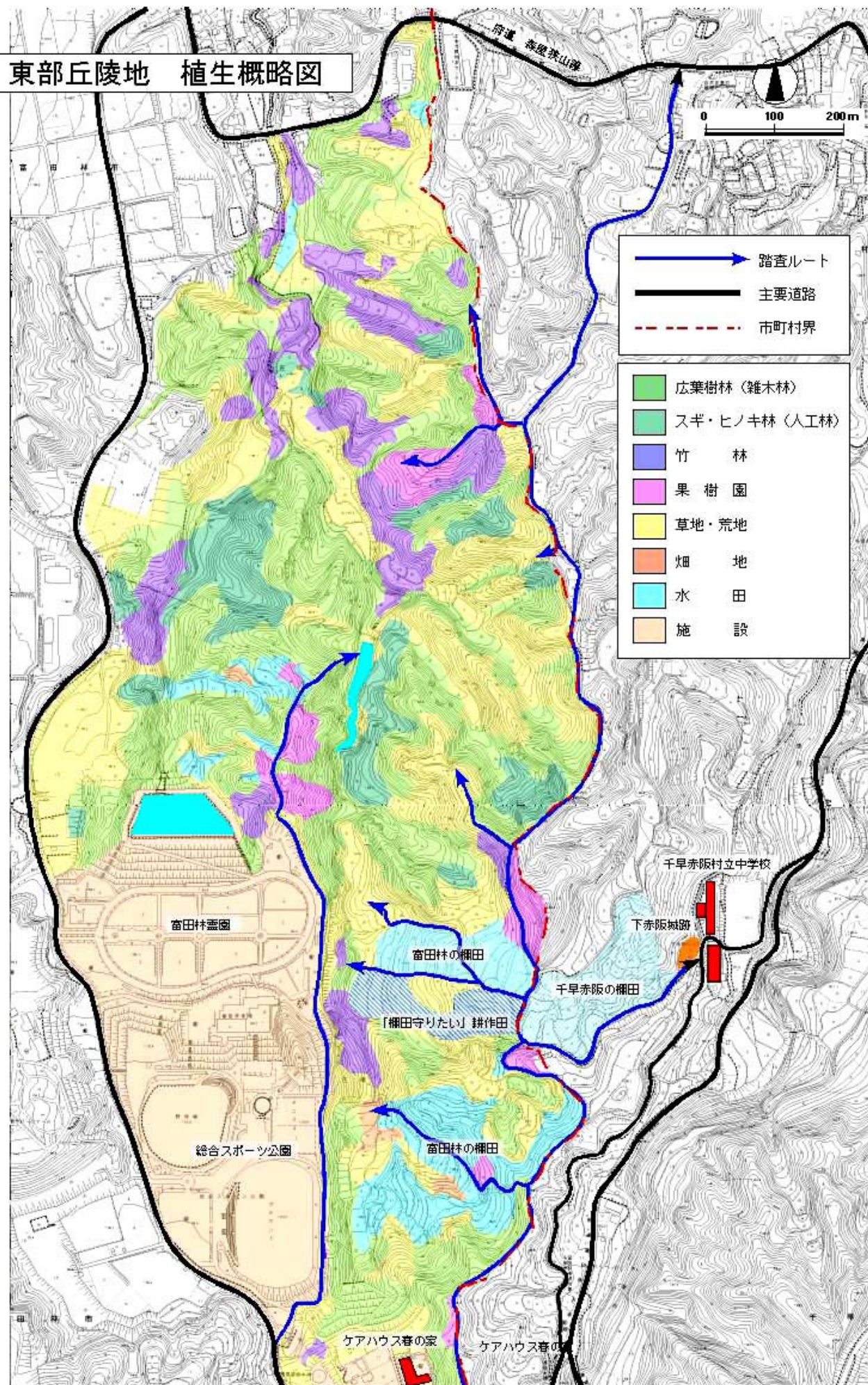
本調査では、「富田林市緑の基本計画」に「田園ゾーン」として区分されている「里山の緑」および「田園の緑」のうち東部丘陵地について、現在の状況や植生、保全すべき自然等について調査を行った。対象地の北部（佐備周辺）は佐備川右岸の低い丘陵地で、南部（スポーツ公園周辺）は、総合スポーツ公園・富田林霊園と谷をはさんで向かい側となる丘陵地である。

(2) 周辺の植生

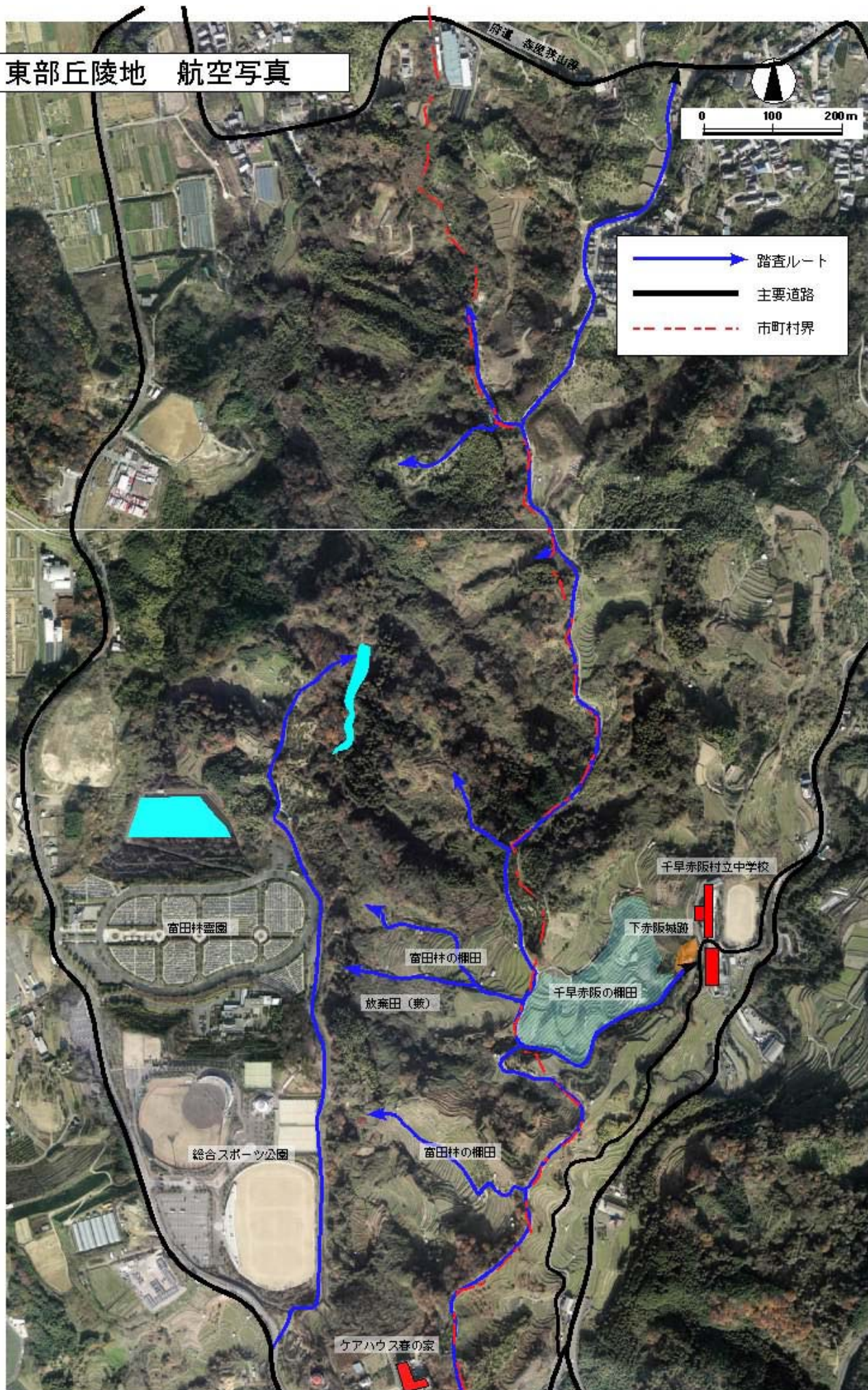
H13 年度撮影の航空写真をもとに作成した「植生概略図」を見ると、山林の大部分は広葉樹林でその中にスギ・ヒノキ林が点在している。谷沿いを中心に草地・荒地が広がっており、この草地・荒地の多くは放棄された棚田や果樹園と考えられる。現在も管理されている棚田は、「棚田百選」として有名な千早赤阪村側よりもさらに広い面積が、富田林側に立地していることがわかる。また竹林は、この航空写真撮影時にはあまり広がりが見られないが、10 年を経た現在ではおそらくより広範囲に広がっているものと思われる。



東部丘陵地 植生概略図



東部丘陵地 航空写真



(3) 緑地の状況

① 北部（佐備周辺）

府道森屋狭山線の南に広がる低い丘陵地で、千早赤阪村との境界に軽トラ程度が通れる農道が棚田方面まで通じている。道の周辺には果樹園や畑地が一部にあるが、その他は雑木林やクズなどのツルに覆われた果樹園跡が目立つ。

<現地踏査> 調査日：H23年8月24日



○管理されている果樹園：農家の方が秋の出荷をめざしてミカンの摘果を行っていた。
新しくミカンの苗木が植えられた果樹園も見られた。



○クズに覆われる果樹園：道沿いや丘陵斜面には、かつての果樹園がクズ等に覆われて雑化している箇所がかなり多い。



○尾根上の畑地：一部には手入れされた畑地や栗が植えられた園地もあった。



○チガヤ草地：畑地に隣接する草地や畔には、草刈り管理されたチガヤの中に、アキノタムラソウやツリガネニンジン、ワレモコウなどの畔植物が生育している。



○竹林や造成地：果樹園の周辺に竹林が広がっているところや造成地も見られ、今後の環境変化が懸念される。

② 南部（スポーツ公園周辺）

千早赤阪村の「下赤阪の棚田」に隣接する富田林市域側の棚田地域で、深い谷をはさんで総合スポーツ公園および富田林霊園がのぞまれる立地である。千早赤阪村側よりもさらに急峻で狭小な田畑が広がっており、放棄された棚田や管理の行き届かない果樹園も見られる。

<現地踏査>

調査日：H23年6月2日、7月5日



○下赤阪の棚田：「日本の棚田百選」に選ばれて、展望場所や駐車場が整備されており、観光客のほか美しい風景の写真撮影やスケッチに訪れる人も多い。



○富田林市域の棚田：千早赤阪の棚田と一連になっているが、上の農道からは直接見ることができないため訪れる人は少ない。棚田の枚数や高低差は千早赤阪側を越えるほどで、非常に美しい景観である。



○広大な面積の畔：富田林市域の棚田は、高低差が大きいため田んぼの面積に比べて畔の面積が非常に広くなっており、下から見上げると芝山のように見えるほどである。



○多大な労力を要する水田管理：最小の耕運機すら入りにくい田んぼもあり、その他の重機も入らないため、手作業の田植えや人力での畔補修が行われている。



○素掘りの水路：棚田の上部には、U字溝および素掘りの水路がとり回されている。延長が長いことこれらの水路管理も大変な労力を要する。



○耕作者にお話を聞く：水田の維持管理の苦労話には本当に頭が下がった。



○獣の落とし穴：イノシシの侵入防止に5ヶ所掘ったが効果はなかったとのこと。



○ソバの栽培：一部ではソバの栽培が試みられていた。



○藪化した放棄田：放棄された耕作地は1年も経てばノイバラなどの藪になる。



○周辺の果樹園：梅やキウイなどが植えてあるが草刈り管理が厳しい状況にある。



○谷底のため池：水量は少ないが、佐備方面の水確保に重要な役割を持つ。

○調査時に観察された植物

ミヤコグサ、タツナミソウ、ヒメウズ、ムラサキケマン、ワレモコウ、アキノタムラソウ、ウマノアシガタ、ヨメナ、ネジバナ、コマツナギ、スベリヒユ、オトギリソウ、ニガナ、センニンソウ、ツリガネニンジン、カエデドコロ、センダイハギ（外来種）、など



ウツギ



ニガナ



ノアザミ



ヤブカンゾウ



ウツボグサ



ウマノスズクサ



スベリヒユ



アキノタムラソウ



オトギリソウ



コマツナギ



ツリガネニンジン



センニンソウ



ヨメナ



カエデコロ



トキワハゼの仲間



イモリ



イノシシ (足跡)

3．保全施策の提案

(1) 現地調査結果のまとめ

今回の調査対象地北部の佐備周辺、南部のスポーツ公園周辺ともに、棚田、果樹園、畑地、雑木林などが連なる丘陵地でのどかな田園景観が広がっているが、管理放棄された場所も多く見られる。現在の管理者は高齢であることが多く、担い手がいなくなったあとの管理不足とさらなる放棄地の増大が心配される状況にある。

●千早赤阪村に隣接する棚田

隣接する千早赤阪村の「下赤阪の棚田」は、「日本の棚田百選」に選ばれるなどよく知られているが、富田林市域にもその棚田が連続していて、非常に美しい棚田景観を形成しており、棚田周辺には他の市域では少なくなった畦畔植物も見られる。

しかしながら、その維持管理には、機械が入らない狭小面積の田、大きな高低差、広大な面積の畔の草刈り、耕作後継者の不在、イノシシ等の獣害、素掘り水路の管理など大変な問題をかかえている。そのため、一部の棚田ではボランティアによる管理も試みられているものの、現在の高齢の耕作者（70～80歳台）がいなくなれば棚田の保全は困難な状況にある。

その周辺には、10年以上前に放置されて藪化した棚田や、かろうじて管理が続けられている果樹園なども見られ、すでに景観が荒れつつある状況が見られる。

また、現地調査の際にヒアリングした高齢の耕作者からは、「馬おろし」「蛇越（じゃごえ）」などの特徴的な地名や、かつてはマツタケ山が多く地区内の小高い丘で料亭がマツタケ料理を提供したこと、また総合スポーツ公園整備の際に開発のための買収があったことなどの話を聞くことができた。

●佐備周辺の果樹園等

一帯はクズなどのツルに覆われた斜面が目立ち、現地調査の際に果樹園の手入れをしていた女性にたずねたところ、その多くは放棄された果樹園の跡地だとのことであった。果樹園跡のとなりには竹林の広がりも見られ、全体としては荒れた印象の丘陵地である。

一部にあった現在も管理されている草地には、ツリガネニンジンやアキノタムラソウ、ワレモコウなどの畔植物の群落が見られるが、造成された荒地等にはセイバンモロコシやアレチウリなどの外来種が繁茂している。

今後、果樹園や畑地の維持管理が滞った場合、周辺の竹林やクズ、外来種の侵入により管理放棄された荒廃地が広がることが懸念される。

(2) 自然保全手法の検討

●棚田の保全手法

隣接する千早赤阪村の棚田は、「日本の棚田百選」や「大阪府ミュージアム構想」に認定され、地元農家の組織づくりや棚田ボランティアの育成、ライトアップによるPR活動、棚田保全基金の活用などの施策が実施されている。富田林市域の棚田も千早赤阪村在住者の出作が多いと聞くことから、これらと連携したかたちで棚田保全のための施策展開を行いたい。特に現在の管理の担い手が高齢化しているため、できるだけ早い取組みが望まれる。

- 棚田保全管理作業への支援（補助金、後継者の育成等）
- 棚田ボランティアの募集・育成、既存団体の支援（助成金、後援等）
- 棚田についての調査記録（所有者等の確認、景観調査、記録写真等）
- 市民への啓発活動（写真展、PRパンフレット等）
- 大阪府や千早赤阪村と連携した施策（PR事業、人材交流、保全基金等）

など

●果樹園、畑地等の管理

藪化している果樹園跡地は放棄されてから年数が経過しており、その再生はかなり困難であるが、できるだけ放棄地を増やさない方策を早急に検討する必要がある。棚田に隣接している箇所では、耕作された棚田を果樹園や畑地に転換して、棚田と一体的な管理を行うことが考えられる。また管理の後継者育成のための支援やボランティア募集、保全に意欲的なNPOと連携する仕組みや助成金などの施策が考えられる。

- 棚田保全と連動した管理
（耕作放棄地の畑地・果樹園化、保全活動の一環としての作業体験等）
- 市民参加による果樹園管理の支援（オーナー制度、作業体験等）
- 後継者の育成支援（担い手塾、ボランティア募集等）
- 竹林の侵入防止策（補助金、NPO等への助成金等）

など

●植物および水生生物の調査

良好な自然環境が残されている棚田周辺の草地では、市内や大阪府域で少なくなった植物が多く見られた。また、周辺の水系やため池についても希少な水生生物（昆虫、魚類、両生類等）が生息している可能性がある。棚田を保全することは、そのような生きものの生息地を保全することでもあり、保全のための基礎データとして植物および水生生物の調査を行うことが望まれる。

- 棚田周辺の畔草地等の植物調査
- 佐備川水系の水生生物調査（棚田の水路、谷底のため池等）
- 周辺住民への聞き取り調査
- 過去の調査データの確認

など

棚田保全の事例 <千早赤阪村「棚田を守りたい」ヒアリング>

日 時 平成23年11月15日 18:00～

場 所 「棚田を守りたい」事務所（千早赤阪村小吹台住宅地）

参加者 鈴木・林・米沢（棚田守りたい）、田淵・笠原・寺川（協議会）

ヒアリング内容

（活動開始の経緯）

- ・2005年3月に会を結成し、2年間放置されていた棚田を復活させることから活動を開始。
- ・現在は、田んぼ約3反、ソバ畑1反弱の耕作を行っている。
- ・活動場所の棚田（富田林市域）は、千早赤阪村下赤坂の棚田が「日本棚田百選」に選ばれた際に写真撮影された場所で、当時の選定委員からも後日に「選んだのはそちらの棚田だ」と言われた。

（組織の概要）

- ・メンバーは千早赤阪村小吹台住宅地の新住民が中心で、現在はメンバー会員13軒、オーナー会員25名、通信会員7名となっている。年齢層は40～70代で退職後の人が多い。
- ・「メンバー」は年会費1万円で、米作についてすべての面で責任を負い、収穫物と必要経費を全員で分け合う。
- ・「オーナー」は棚田の維持活動に賛同して年会費1万円の資金援助を出し、米5kgをもらうことができる。
- ・「通信会員」は年会費500円で「棚田通信」を年間8回程度送付する。
- ・月1回の定例会議、月2回（主に土日）に作業を行い、田植え後の水当番を決めている。
- ・活動運営にあたっては会員間のコミュニケーションや結束を重視している。
- ・事務所は、会員の別宅をお借りして会議や親睦会に利用している。

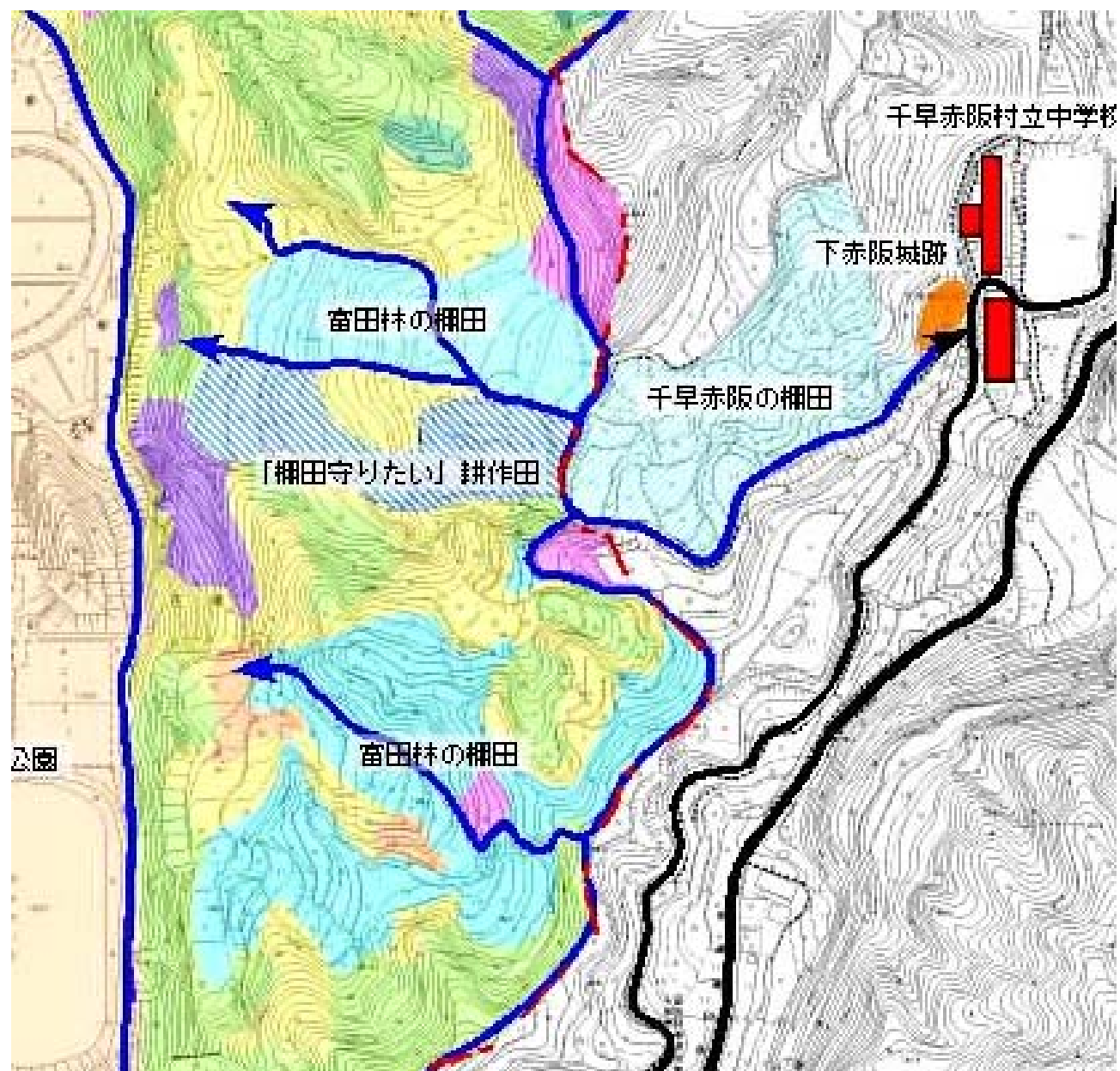
（作業について）

- ・他の方からも、休耕田などの米作りが継続できないので引き受けてほしいといわれるが、棚田の維持活動は大変な作業のため、なかなか簡単には引き受けられない。
- ・イノシシ除けの網などを富田林市の補助で整備している。千早赤阪村よりも予算規模が大きいので、補助額も千早側より多くて助かっている。
- ・今年の田植えには、東大阪の保育園や大阪経済大学・関西大学の学生なども参加した。
- ・米作のほか、20年放置されていた棚田にはソバを栽培している。また別の場所では柿畑（70本）の手入れをすべてまかされている。
- ・棚田横の共同水路に不法投棄された粗大ゴミの清掃も年1回行っており、大変な量のゴミを処分している。

千早赤阪村で行われたライトアップ →
※「棚田を守りたい」の田んぼは、富田林市域のため対象からはずれている。
（撮影：「棚田を守りたい」メンバー）



「千早赤阪村 棚田守りたい」の耕作田周辺図



参 考 資 料

- ・「棚田通信」第41号～第46号
（「千早赤阪村 棚田守りたい」発行）
- ・「下赤阪の棚田」とは
（千早赤阪村のホームページより）
- ・「棚田・ふるさと保全基金事業」について
（大阪府のホームページより）
- ・「棚田ふるさとファンクラブ」活動案内
（団体のホームページより）
- ・「棚田夢灯り 2011」チラシ

2011年のオーナー、通信会員募集中

2011年のメンバー、オーナー、通信会員募集中

「棚田守りたい」は、2011年のメンバー、オーナー、通信会員を募集しています。

メンバーは、棚田の米作について年間すべての面で責任を持って行う人で年間1万円の会費を出し、赤字ができれば全員で分担、収穫物は全員で分けます。メンバーの募集期間は2011年1月1日から3月末日まで。

オーナーは、棚田の維持活動に賛同し、資金的援助もかねて年間1万円の会費を出し、棚田で採れた米5kgをもらうことが出来ます。

通信会員には、棚田の出来事や行事等をお知らせ棚田通信を年間8回程度送ります。年間500円の会費を払います。

田植えや稲刈りなど棚田の行事にはどなた様でも参加できます。

いずれも会費は事務局担当の鈴木まで納めていただきますようお願いします。事務局 鈴木の住所

大阪府南河内郡千早赤阪村小吹68-683

メンバー、オーナーの会費は、現金か郵便銀行の口座に送ってください。口座はスズキテツオ名義、口座番号14120-08752021です。通信会員の会費は、郵便切手の80円切手を7枚送付していただいても結構です。

棚田のゴミ清掃ボランティア

今年も共同水路に放置されたゴミ収集のボランティアを3月6日(日)午前10時からおこないます。ゴミが放置される場所に高さ80センチほどの赤の鳥居を設置してから少し減った感じがありますが、依然としていまだにたくさんのゴミが投棄されています。

服装は、長靴、長袖、長ズボン、防止と手袋着用をお願いします。ごみ収集は、重量物は引き揚げず、ポリ袋や段ボール箱など軽いものにします。富田林市役所にゴミ袋を70枚申し込みます。

皆さんの積極的な参加をお願いします。

今年の田植えは6月5日(日)

今年の稲刈りは秋祭り(10月第3土曜日、日曜日)の前に、田植え、稲刈り、脱穀は日曜日にすることを基本にしました。そこから逆算して田植えを6月5日(日)、稲刈りを10月9日(日)と予定しました。

田の補修は3月6日2時から

田んぼにいのししが土手を掘り返して弱くなったり、膨らみかけたり、少し崩落しているなど補修の必要な箇所が何箇所もあります。そこに杭を打って補強し、土砂崩れを防止する作業を行います。

実施日は3月6日午後2時からおこないます。午前中はゴミ清掃ボランティアがありますので、それが終了した後に行います。杭は直径5cm程度で長さ120センチのものを100本用意します。

田水はけを良くする作業

冬の間田んぼが水浸しにならないようにまわりと中に耕運機で筋を入れる作業を1月30日(日)午前9時からおこないます。

柿木の剪定は1月22日(土)

柿木が2年目になります。今年剪定すると来年から立派な柿がなりそうです。1月20日に肥料15キロの乾燥鶏糞40本を入れます。今年は管理区域も明確にして手入れをしたいと思います。

経大研究発表会1月23日

大阪経済大学の地域経済を研究する柏原ゼミが本年は千早赤阪村をテーマに取り上げ多角的に研究した発表会が千早赤阪村くすのきホール会議室で行われます。名前は「大阪経済大学千早赤阪村調査報告会」です。日時は1月23日午後3時から5時までです。大きな画面で映像を使って行われます。どなたで参加が出来ます。棚田の体験も報告されると思いますので楽しみです。

そば打ち体験2月20日(日)

前回そば打ち体験が好評でしたが、参加できなかった人から次ぎもやってほしいという要望がありましたので2回日のそば打ち体験を行います。

実施は2月20日(日)午前10時から小吹台林宅でおこないます。自分たちで作ったそばを打ったその場で食べる味は格別です。今回も先生は前回と同じ溝端秀幸さんです。

家で自分で打って難しさがわかりました。よく見て経験して打てるようになります。

「棚田通信」第41号
千早赤阪村「棚田守りたい」

2011年1月17日
発行 千早赤阪村「棚田守りたい」
事務局 鈴木鉄雄
0721-72-7405
<http://www17.ocn.ne.jp/~chtanada/>

東日本大震災の被災の皆様にお見舞い申し上げます

2011年のおおまかな作業予定

田植えまでの日程

共同水路の掃除=4月29日(金・祝)午前8時から

田んぼの草刈=4月29日(金・祝)午前9時から
4月30日(土)午前9時から
両日とも1日作業予定

柿畑の草刈=4月25日(月)午前9時から(半日)

田越し・草刈=5月21日、22日午前9時から

畦塗り、代かき=5月28日、29日午前9時から

田植えは6月5日(日)8時から

柿畑の消毒・草刈=6月11日(土)午前9時から
8月6日(土)=午前9時から

草取り・草刈=6月12日(日)、6月25日(土)、6月26日、7月9日(土)、7月10日(日)=午前9時から
8月7日(日)、8月20日(土)、8月21日(日)=午前8時から
9月3日(土)、9月4日(日)、9月17日(土)、9月18日(日)=午前9時から

稲刈り準備=10月1日(土)、10月2日(日)午前9時から

稲刈り=10月9日(日)

脱穀=10月23日(日)(天気次第です)

棚田のゴミ清掃ボランティア

棚田横の水路にプラスチックゴミなどが放置されているので、毎年ゴミ清掃ボランティアをしています。今年で3回目です。3月6日午前10時から16人が参加して行いました。拾ったゴミは、自転車、業務用冷蔵庫、机、スチール製ロッカー、弁当ガラ、スーパーのカート買い物かご、洗面器、テレビなど日用品だけでなく業務用と思われるものまでありました。ゴミ袋50枚分とゴミ袋に入らない金属製の物が軽四トラックに山盛りありました。収集したゴミは、水曜日に富

田林市が収集してくれました。



田んぼの補修、くい打ち

棚田の崩壊しているところ、崩壊しそうな所を補修するため3月6日午後2時からくい打ち作業を11人で行いました。今年は直径5cm×120cmの杭を100本用意しました。最初に100本の杭の表面に焦げ目を入れる作業をしました。焼却用に作ったドラム缶の木屑や草を入れて燃やし上に杭を置いて燃えないように回転させて焦げ目をつけていきました。本部下に20本、去年穴の開いた北側斜面に4段に15本ずつ計60本を順次打ち付けていきました。



田んぼの水抜き作業

田んぼの水が抜けるように耕運機で田んぼの周りに溝を入れる作業を3月12日(土)午前9時から5人で行いました。大きな田は周りと真ん中十時に入れる、小さい田は一筋の溝を入れました。周りの水路の掃除もしました。効果が出て、田植えがしやすくなるいいのと思っています。

「棚田通信」第43号
千早赤阪村「棚田守りたい」

2011年4月22日
発行 千早赤阪村「棚田守りたい」
事務局 鈴木鉄雄
0721-72-7405
<http://www17.ocn.ne.jp/~chitanada/>

6月4日・5日で田植えが無事終了

すべて手植えで行う

棚田守りたいの2011年の田植えは、6月4日（土）に東大阪のどんぐり保育園が園児・保護者・先生約30人と棚田守りたいメンバー13人が田植えをしました。5日（日）には、大阪経済大学の学生、奈良県河合町、京都市や八幡市など各地から58人が参加して行いました。また、今年計知り合いのつてをたどって、カメラマンがたくさん駆けつけ田植えの写真を撮っていました。

前日から試験的に植え始めたこともあって、午後2時には田植えが無事終了しました。



田植えの準備に手間取る

田越し、代かきを5月21日（土）12人、22日（日）17人で行いましたが十分出来ず、5月28日（土）9人、31日（火）9人、6月1日（水）7人、2日（木）15人で行い田植えにこぎつけました。悪天候が続いて作業が大幅に遅れました。



「棚田通信」第44号
千早赤阪村「棚田守りたい」

集中豪雨で田んぼが壊れる

5月下旬の集中豪雨で棚田の一部が壊れました。役所に届けを出し、とりあえずの応急処置はしていただきました。地元負担が2割ありますが、富田林市の事業としてしてもらえよう申請するつもりです。今年の秋か来年度には本格的な工事にかかれるようにすすめます。



田んぼの水当番

水田の水が適切に保たれているか、モグラによって穴があけられ水がなくなっていないか、土砂崩れが無いか毎日確認する必要があります。その為の水当番を決めました。日曜日＝西片、近藤、月曜日＝安田、火曜日＝中村、米沢、水曜日＝田中、盛田、木曜日＝林、金曜日＝鈴木、土曜日＝西片、近藤です。

柿刈の草刈終了

柿刈の草刈は、6月12日に7人で行いました。消毒は周辺の田んぼが田植えが終了する20日（月）以降になります。

今後の作業予定

今後の作業は、6月12日に出来なかった田んぼの草取りを18日（土）と19日（日）の午前9時から行います。その後は、当初の予定通り6月25日（土）、26日（日）午前9時から草刈・草取りを行います。田んぼの状況を見て男も含め全員で草取りをします。

暑い中の作業です、水分と休憩を十分取りましょう。

2011年6月15日

発行 千早赤阪村「棚田守りたい」

事務局 鈴木鉄雄

0721-72-7405

<http://www17.ocn.ne.jp/~chitanada/>

稲は順調に育っているが、草に悪戦苦闘

現在の稲の状況

下の写真左は田植えの写真で、苗が細く植えられていたものが、その右の写真は現在の稲の状況です。高さは50cm程になり苗も太くなっています。順調に育っています。稲と稲の間には、ホテイアオイやホタルイなどの雑草がみっちり生えています。



今年は、雑草の繁殖がすごい

田植え後からの天候不順により当初予定していた草取りもなかなか出来なかったが、6月22日(水)7人、6月25日(土)15人、26日(日)18人で1回目の草取りを行いました。7月9日(土)11人、7月10日(日)7人で3回目の草取りをしました。この時は草も小さかったが、藨が非常に沢山あり、レーキを使ったり、忍者熊手や手で取りました。2回目の草取りを14日(水)12人、16日11人、17日(日)18人が行いました。土手の草刈は何とか終わ



田圃の中に入り、雑草を丁寧に取っています

りましたが、田圃の中の草取りは5分の3程しか出来ませんでした。広い田圃には10数人が一斉に入って草取りをしますが1時間ぐらいかかります。暑いさ中の作業ですので1日出る草取りは大きな田圃2枚分くらいです。草に負けずに気を引き締め、熱中症に注意しながらの作業です。今年の雑草の繁殖力には驚かされます。

田んぼの水管理は難しい

水当番を決めて毎日田んぼも水の入り状況を見に行っていますが、モグラ穴が開いて水が入らずにからからになったり、水が入りすぎて畦を越える状況になったり、常に一定の水位を保つ難しさを毎日実感しています。

柿刈の消毒終了

柿刈の草刈は6月12日に終了しましたが、天候不順のため消毒がなかなか出来ませんでした。7月13日(水)に5人で消毒を行いました。

柿は2cmぐらいの実を付けていましたが、木によって数はばらばらで、思ったほどありませんでした。

今年どのぐらいの収穫できるか楽しみにしています。

そばの収穫は7月末ごろか

昨年そばを植えたところに落ちこぼれた種が芽を出し一面そば畑になっています。収穫は有志ですることになりました。

また、おいしいそばが食べられそうです。

今後の作業予定

主な作業は草刈、草取りです。

7月23日(土)、24日(日)=午前8時～11時まで

8月6日(土)、7日(日)=午前8時～11時まで

8月20日(土)、21日(日)=午前8時～11時まで

9月3日(土)、4日(日)=9時～昼まで

17日(土)、18日(日)=9時～昼まで

7月半ばから8月の作業は、暑いので午前8時からにしています。1時間ぐらい作業すれば20分ほど休憩する。休憩の時にはおやつをいただきます。手料理のおやつに出会うこともあります。休憩中は話が弾みなかなか作業にいけませんがこれも「棚田守りたい」の休憩のすごし方です。これが暑い中での作業を続ける原動力になっています。

「棚田通信」第45号
千早赤阪村「棚田守りたい」

2011年7月19日

発行 千早赤阪村「棚田守りたい」

事務局 鈴木鉄雄

0721-72-7405

<http://www17.ocn.ne.jp/~chitanada/>

今年の稲刈りは10月23日(日) 午前9時から

現在の稲の状況

下の写真左は9月16日(金)の米の状態です。稲穂が垂れ下がってきていますが、実入りとしてはまだまだです。稲刈りを10月9日(日)から23日に変更したのは、未熟米を避けるためです。



稲刈りまでの準備をします

稲刈りが気持ちよく出来るように、①本部席と上の休憩場所、入り口の草を刈る。②畦の上の草を刈る。③水路の溜まっている落ち葉や草を取る。④田の水が完全に抜けるようにする。これらを稲刈りまでに順次行います。

いのししの被害にあいました

いのししが9月13日(火)に田圃に入っているのを発見。下の田圃3枚と、中間の田圃2枚は大きく倒れていました。倒れ物は泥がつき収穫できない状況と



思います。その日集まった4人で破られていた、いのししよけ柵の補修をしましたが、15日(木)にも入られました。17日に改めて木の杭で弱いところ、破られそうなところを補強しました。

柿木に実がついています

柿の木に実がついて5センチぐらいの大きさになっています。8月30日(火)に下草刈、5日に2回目の消毒を済ませました。11月には収穫です。

下の写真は8月30日の柿の状態です。



秋そばを植えました

自然に生えたそばを刈り取り、天日干しにしました。が実入りがほとんどなく、草刈のときに燃やしました。8月27日(土)と28日(日)に再度耕し、肥料をやり、種をまきました。今は、30cmほどになっています。稲刈りの後に収穫できます。



今後の作業予定

10月1日(土)、2日、15日(土)、16日(日)は草刈、水路掃除など稲刈りの準備。17日の週に竹きり。
稲刈り=10月23日(日) 22日は、稲刈り準備。
脱穀=11月3日(木・祝)

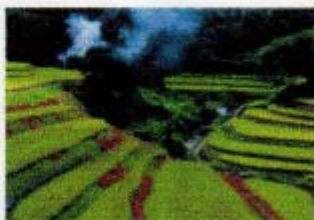
「棚田通信」第46号
千早赤阪村「棚田守りたい」

2011年9月20日
発行 千早赤阪村「棚田守りたい」
事務局 鈴木鉄雄
0721-72-7405
<http://www17.ocn.ne.jp/~chtanada/>

棚田・ふるさと保全基金事業について

「棚田」とは山地の傾斜面に作られた田んぼの事で古くからの農耕文化に支えられ、今日まで脈々と維持されてきました。大阪府にも多くの「棚田」があり、その美しい景観は府民の心のふるさととして親しまれる歴史的文化遺産であるとともに、水源涵養、洪水調節、多様な生物の生息場所等、多くの公益的機能を有しております。

大阪府では、このような「棚田」を保全していくため、平成10年度から「大阪府みどりの基金」の中の棚田保全事業として「棚田・ふるさと保全基金」を設置しました。



棚田について

大阪府にはこんなにも美しい棚田があります！！

山地の斜面に作られた階段状の田んぼが、棚のように見えることから、「棚田」と呼ばれてきました。古くからの農耕文化に支えられ、今日まで維持されてきました。また、冷たくきれいな水を利用した棚田で穫れる米は、とてもおいしいと評判です。

大阪府内には、約300haの「棚田」があります。その中でも、能勢町の「長谷」、千早赤阪村の「下赤阪」の2地区は、「日本の棚田百選」に認定されています。

[日本の棚田百選\(外部サイト\)](#)

■その他の大阪府の棚田



■能勢町「長谷地区」

能勢町西部の長谷地区にある、山あいにも美しい曲線美を見せながら広がる棚田。

点在する葺き屋根の民家と周囲の山並みとが作り出すのどかな田園風景は、四季折々に異なる表情を見せる。特に夏と秋には、それぞれ深緑、黄金色に染まる見事な日本のふるさと風景を楽しめる。

■千早赤阪村「下赤阪地区」

千早赤阪村役場近くの千早赤阪中学校の裏手に広がる下赤阪の棚田。すぐ上の山頂には楠木正成ゆかりの「下赤阪城址」がある。

一年中、風光明媚な風景が広がっているが、田植え後の新緑時期や、初秋の黄金色に輝く時期にはさらに美しい姿を見せる。

今、棚田が危ない？！

棚田を耕す人がいなくなって、耕作放棄地が増えています。

耕作放棄地とは、作物を育てず、草刈等の管理も行わなくなった農地のことを言う。

山地にあり、規模が小さい「棚田」を維持していくには、平地での何倍もの労力が必要です。ところが、棚田を守る農家が年々少なくなる極度に、さらに高齢化が進み、維持管理すら難しくなっている状態である。そのため、「棚田」では田畑が作らなくなる「耕作放棄地」が進行しており、ますます維持管理が難しくなっています。

このまま耕作放棄地が進むと、棚田が荒廃し、本来、棚田が持つ様々な機能が失われることになります。そこで、大阪府として棚田を保全していくため、様々な対策を行っています。



棚田ふるさとファンクラブ

さあ、あなたも今すぐ棚田サポーター！！

みなさんで一緒に棚田を守りませんか？自然環境が豊かで貴重な棚田を守るため、地元農家と一緒に、農作業を楽しみながら保全活動を行っています。ファンクラブの会員でない方もご自由にご参加いただけますので、ぜひ一度ご参加いただき、美しい棚田で楽しく作業しませんか？美しい景色の中で作業をしていると、新しい発見や素晴らしい出会いがあると思いますよ。

詳細は、棚田・ふるさとファンクラブのホームページへ

<http://www8.ocn.ne.jp/~daidoren/tanada.html>

お申し込み・お問い合わせは、水土里ネット大阪まで

TEL:06-6121-6789 FAX:06-6121-6790



棚田ふるさと保全基金

大阪府では基金の運用するとともに、皆様から寄附金を集め、それを保全に活用しています。

寄附の方法について

各種金融機関への振込みやクレジットカードなど様々な方法がご利用いただけます。

○ご寄附いただける場合は、下記の申込み方法よりお選び下さい

▶振込みによるご寄附(郵便orFAXでのお申込み)【Wordファイル/29KB】[\[ここをクリック\]](#)

必要事項をご記入の上、下記まで郵便、FAX又は電子メールのいずれかの方法によりお申込み下さい。受付後、大阪府より振込用紙を送付いたしますので、大阪府の公金収納取扱金融機関等がゆうちょ銀行でご入金願います。

▶振込みによるご寄附(電子申請によるお申込み)【[ここをクリック](#)】

電子申請画面にて、必要事項をご入力下さい。受付後、振込用紙等を送付いたしますので、大阪府の公金収納取扱金融機関等がゆうちょ銀行でご入金願います。

▶クレジットカードによるご寄附(電子申請による申込み)【[ここをクリック](#)】

電子申請画面にて、必要事項をご入力下さい。VISA、Master、JCBにてお支払いできます。受付後、電話もしくは電子メールにて会費等の確認をさせていただきますので、ご了承下さい。

・大阪府の公金収納取扱金融機関等の一覧は[こちら](#)をご覧ください。

・詳細は[こちら](#)(「ふるさと納税 寄附の申込み方法」のページへ)(別ウインドウで開きます)

税制上の特典について

法人・個人どちらの場合でも、寄附金には税の優遇措置があります。

○この基金は、地方公共団体への寄附に該当しますので、次のような税の優遇措置が受けられます。

- ・個人からのご寄附は、個人住民税及び所得税の寄附金控除が受けられます
- ・相続した財産を申告期限内までにご寄附いただいた場合は、寄附金相当額に対する相続税は非課税となります
- ・法人のご寄附は、寄附金相当額が損金扱いになります

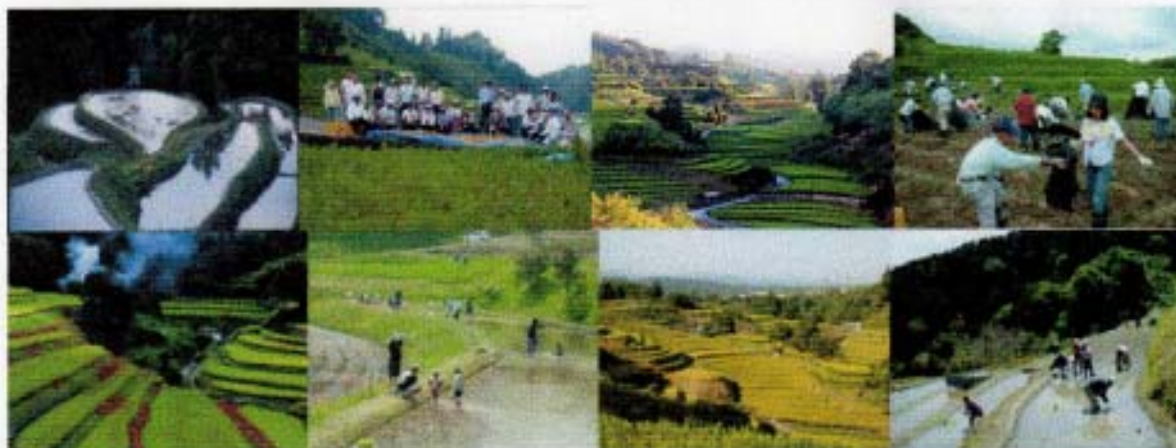
・詳細は[こちら](#)(「ふるさと納税 制度の概要」のページへ)(別ウインドウで開きます)

感謝状の進呈

○計10万円以上、ご寄附された方には、大阪府から感謝状を贈呈いたします。

ご寄附の申込み・お問合せ先はこちら

大阪府 環境農林水産部 農政室 整備課 計画推進グループ「棚田・ふるさと保全基金」担当まで
〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 鉄洲庁舎22階
TEL06-6210-9600 FAX06-6210-9599
e-mail: nousq@shobu.pref.osaka.lg.jp



棚田・ふるさと ファンクラブ活動案内

平成23年度における下赤阪地区での活動案内です。

第1回 保全活動	平成23年5月15日(日) 9:00~12:00 ・ファンクラブ有志による草刈作業 ※雨天の場合は中止
第2回 保全活動 ＜収穫祭＞	平成23年6月19日(日) 8:00~15:00 ・ジャガイモ収穫祭 ・サツマイモ植え付け作業 ※雨天の場合は6月26日(日)
第3回 保全活動	平成23年7月3日(日) 9:00~12:00 ・草刈り ・ひまわりの種まき ※雨天の場合は7月10日(日)
第4回 保全活動	平成23年10月2日(日) 8:30~12:00 ・草刈り ・ひまわり摘み ※雨天の場合は10月9日(日)
第5回 保全活動 ＜収穫祭＞	平成23年10月23日(日) 8:00~12:00 ・さつまいも収穫祭 ・ひまわり摘み ※雨天の場合は10月30日(日)
第6回 棚田ライトアップ	平成23年11月12日(土) 15:30~17:00 ・棚田ライトアップ(灯籠設置～点火作業) ※雨天の場合は11月13日(日)
第7回 保全活動	平成24年3月11日(土) 8:00~12:00 ・ジャガイモの植え付け作業 ・マルチ掛け ※雨天の場合は3月18日(日)

日時や内容などは、天候等の理由から変更する場合がございます。
今後の活動の詳細については、ホームページもしくは「棚田ふるさとファン
クラブ事務局」にご確認いただきますよう宜しくお願いいたします。



サツマイモ収穫祭



ライトアップ風景

棚田夢灯り2011

三千の灯ろうが浮かび上がる幻想的なひと時をお楽しみください。

日時 平成23年11月12日(土)
17:00~20:00 ※雨天順延13日(日)



場所 大阪府南河内郡千早赤阪村下赤阪の棚田一帯(村立中学校西側)
(近鉄長野線富田林駅⇒金剛バス・千早赤阪村立中学校前下車⇒徒歩10分)
駐車場 村民運動場および赤阪小学校運動場 午後3時開門
※会場までは送迎バスあり。

棚田夢灯り 2011



点灯を前に、千早赤阪村立中学校吹奏楽部による演奏がオープニングを飾ります。
7月27日に開催された第50回大阪府吹奏楽コンクール地区大会(南地区)において「優秀賞」を受賞しました。
棚田を背に素晴らしい音楽を奏でます。

～スケジュール～

16:00～ オープニング
村立中学校吹奏楽部
16:30～ 棚田点灯開始
17:00～ 獅子舞①
18:00～ 獅子舞②
20:00 終了

当日は模擬店もありますので、是非お立ち寄りください。
場所：村立中学校運動場
時間：15：30～20：00

【主催】
下赤阪棚田の会
【問い合わせ】
下赤阪棚田の会事務局(千早赤阪村地域振興課むらづくりグループ内)
〒585-8501 大阪府南河内郡千早赤阪村大字永分180
TEL 0721-72-0081(代)
FAX 0721-72-1880



棚田夢灯り全景



灯ろうで彩られた棚田をバックに、村内の中津神社に伝わる獅子舞「獅子舞」をご覧ください。毎年10月第3土曜日の秋祭りの夜、中津神社の境内で奉納されるもので、氏子の若者に伝承されています。
獅子舞のついた布の裏に二人が入り、小太鼓の面に合わせて高さ1.5mの台の上で舞います。演目により、きつねや運化が登場します。

アクセス

